

1996年5月10日

テレビ東京
社長 杉野直道殿

日本アルコール問題連絡協議会
103 中央区日本橋浜町3-19-3 ヲノ21ビル
☎03-3249-2551

アルコール問題全国市民協会
アディクション問題を考える会
日本キリスト教婦人矯風会
日本アルコール医学会
日本アルコール関連問題リサーチワーカ協会
飲酒運転に反対する市民の会
イッキ飲み防止連絡協議会
全日本断酒連盟
救世軍日本本営
国際グッドテンプレートズ
日本禁酒禁煙協会
日本禁酒同盟
アンスワール相互保険会社

「追跡・テレビの主演」に対する申し入れ

貴局におかれましては、報道機関としての社会的責任に日頃より関心を払っておられることと存じます。

しかしながら、さる5月1日夜9時放送の「追跡・テレビの主演」において、アルコール依存症からの回復が、節酒を取り戻すことであるかのような、医学的に、そして臨床的に明らかな誤りが、あたかも回復の理想であるかのように報じられていたことは誠に残念であるばかりか、はなはだしい認識不足であると断ぜざるを得ません。さらにこちらからの電話での抗議に対して、当初は制作プロダクションの責任であるかのように抗弁し、その後の抗議に対しては、担当プロデューサーがアルコール依存症についての無理解をベースにした回答に終始するという、報道機関として全く客観性のない姿勢に驚きました。

私どもには、全国の関係者（医師、看護婦などの専門家、回復者、家族等）から、こうした報道は誤りであり、飲酒に問題のある人々やその家族に対して大きな誤解を与えるばかりか、事実、あの報道の後、回復途上にあるアルコール依存症者が再飲酒してしまったという情報も数多く寄せられています。

貴局におかれては、こうした事実を目をつぶることなく、また報道機関としての使命を果たすべく、アルコール依存症についての正確な情報の提供を早急に行なっていただくよう抗議と以下の申し入れを行なうものです。

記

- 1) 同番組で「節酒がアルコール依存症の回復であるかのような誤解を与えたことをおわびします」というような訂正を入れること
- 2) 誤った情報提供を補正する新たな番組の提供を速やかに行なうこと

なお、上記の事項について、5月25日までに当協議会までご回答ください。